



広報

令和4年10月1日発行

たちばな

第36号

橘病院

整形外科専門病院

TACHIBANA HOSPITAL

<http://www.tachibana-hospital.jp>

ドクタートーク

副院長 小島 岳史

皆さま「ただいま帰ってきました!」

2013年10月に橘病院を退職して、ちょうど8年ぶりに副院長として2021年4月に帰ってまいりました。8年前に開いてくれた送別会で「また必ず帰ってきます」と職員みんなに言ったことが現実になって、また都城の患者さんとお付き合いができるようになることをうれしく思っています。この8年間は宮崎善仁会病院で救急外傷を1年間学び、野崎東病院ではスポーツ整形外科と人工関節を6年間、藤元総合病院では合併症の多い患者さんの整形外科手術について1年間勉強してきました。自分と言うのもなんですが、かなりバージョンアップして帰ってきています。

今回は以前のペーパー医者と違って、副院長として柏木院長を支えていくことはもちろんのこと、宮崎大学病院整形外科との連携や、周辺の整形外科クリニックとの連携、都城医師会との連携等重要な任務を背負っております。

外来では一般整形外来のほかに「スポーツ整形外来」を立ち上げて、日々スポーツにおける怪我や障害を診療しています。スポーツ選手はとにかく早期診断、早期復帰を望んでおりますので、初診日に診断と治療方針を極力決定できるようにしています。またスポーツ選手の気持ちは自分がスポーツ選手じゃない限り分からないはず! と勝手に思っておりますので、私自身もサーフィン選手として積極的に大会に参加し、大会にかけるスポーツ選手の思いも共感できるようにしています。(だいぶこじつけやな?)

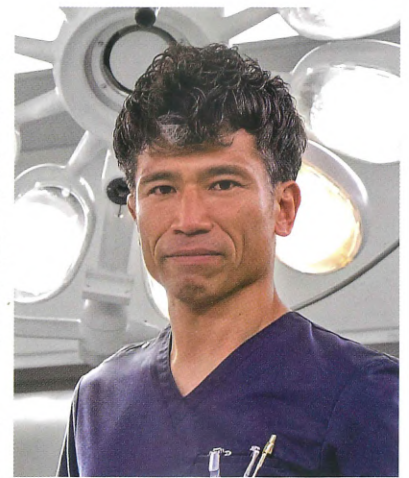
手術ではロボット支援人工関節や膝関節鏡手術(半月板縫合術や前十字靭帯再建術等)をメインとして執刀しております。外傷治療については福嶋研人先生と柏木悠吾先生へ積極的に技術アドバイスをしない、後進の指導にも力をいれております。

また副院長として橘病院がどうしてもっと患者さんにも職員にも魅力的な病院になるのか? を毎日毎日考えています。病院周りの雑草抜いてみたり、クールビズでアロハシャツ着てみたり、周辺の飲食店とコラボメニュー作ってみたり、花のあるまちづくり実行委員になってみたり、職員への福利厚生としておごり自販機を設置してみたり、病院玄関をカフェっぽくしてみたり、思いつくままこの1年半頑張ってきました。まだまだやりたいことはたくさんありますが、少しずつ楽しい病院にしていこうと思っています。

これからも「明るく、やさしく、あたたかく」の病院理念のもと、「都城で世界基準の整形外科治療を」を合言葉に頑張っ参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

「明るく、やさしく、あたたかく、さらに自分も楽しく」を私個人の病院理念として、今からハワイの人工関節技術学会に発表してきます。(2022年8月30日 羽田空港にて)

病院のインスタ、フェイスブック日々更新していますのでフォローしてくださいね~ アロハ~



ドクタートーク

整形外科 福嶋 研人

2022年4月から橘病院で働かせていただいております福嶋研人と申します。経歴としましては宮崎大学医学部を卒業後、宮崎大学医学部附属病院で研修し、2019年4月に宮崎大学医学部附属病院整形外科に入局致しました。大学病院で1年間、高千穂町国民健康保険病院で2年間整形外科医として勤務し、この度橘病院へ赴任致しました。生まれも育ちも宮崎市であり、都城で働かせていただくのは初めてですが、人も温かく、食べ物もおいしくとても楽しく働かせていただいております。子供たちから高齢者の方まで多くの人の手助けができるよう頑張っておりますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。



整形外科 柏木 悠吾

皆さんこんにちは。2022年4月より勤務しております柏木悠吾と申します。よろしくお願ひします。宮崎大学医学部卒業後、昨年度までは宮崎県立宮崎病院で勤務しており、4月から橘病院に勤務しております。スタッフの方々に支えられながら、充実した日々を過ごさせて頂いております。

簡単に自己紹介させていただきますと、私は幼少期からずっと都城で育って来ました。イングリッシュ幼稚園、東小学校、妻ヶ丘中学校、泉ヶ丘高校を経て、宮崎大学へ入学しました。学生時代はテニスにはまっています、軟式、硬式どちらもやっています。最近はゴルフを始めて、初めてのラウンドに向けて練習中です。

察しの良い方はお気づきかもしれませんが、柏木院長は私の父で、父の背中をみて医師を目指してきました。中高生のころの作文に書いた「医師として地域に貢献する」という目標を、地元である都城で実現できるよう、これから頑張っていきたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひ致します。



Mako (人工関節手術支援ロボット) について

マイベストプロに掲載されています小島Drの取材記事から一部抜粋した内容です。

詳しくは[マイベストプロを検索](#)

アクセルを踏み間違えても自動でブレーキが利く、 この安全性の向上こそが「Mako」の強み

2021年11月より、人工関節手術支援ロボット「Mako(メイコー)」を導入した整形外科専門病院「医療法人社団橘会 橘病院」。副院長で整形外科専門医の小島岳史さんは、Makoのアシストを受けて手術に臨んだ感想を「例えるならば、30年前のマニュアル車と最新の自動運転車くらいの違いがあります。誰もがF1レーサーになれるというのは言い過ぎかもしれませんが、キャリア豊富な医師の技術を凌駕するくらいの手応えがありますね」と話します。

Makoのアシストの下で行われるのは、損傷した関節を取り除いて人工の関節へと置き換える人工関節置換術。「当院では、ひざに水がたまってしまいう変形性膝関節症や、変形性股関節症の患者さんが大多数を占めます。ほかに関節リウマチも年に数回、まれに骨頭壊死の手術も行います」と説明する小島さん。Makoを「人間の能力の限界をサポートしてくれるロボット」と評し、その最大の特徴を「手術の安全性の向上」と指摘します。

「仮に私たちが力を加えても、設定した範囲を超えることなくロボットアームが停止します。人間が手を動かす以上起こりうる問題をカバーしてくれるのです」

アクセルを踏み間違えても自動でブレーキが利く、この安全性こそがMakoの強みと言えるでしょう。

「Makoを使って行われる人工股関節および人工膝関節の全置換術には保険が適用されます。当院のモットーは患者さんの笑顔。『痛みを取り除いて元気に歩きたい』という意味さえあれば、年齢を問わずに手術をいたします」



真に安全な手術を実現していくために、 医師と医療機器メーカーが一体になって手術に臨む



小島さんが「大工仕事」に例えるように、人工関節置換術は電動ノコギリや骨を掘削するリーマーといった工具を用いる手仕事であり力仕事。その指針となるのが手術の設計図です。

「従来のレントゲン写真をもとにした2D(平面)の設計図ですと、図面通りに仕上げても実際には誤差が出ないとも限りませんでした。Makoならより精度の高い3D(立体)で設計図を書けるので、こうした可能性を排除できます」

そして、この3Dの設計図と連動して動くのがロボットアームです。

「ロボットアーム越しに手を動かしていくと、あらかじめ設計図上で設定した箇所でアームが止まります。そこでボタンを押せば、システムがアシストするままに骨を切ったり削ったり、人工関節を設置することができるのです」

1ミリでも手元がずれば、近くの血管を裂いてしまう危険性もある整形外科手術。「両手でしっかり握っても、振動で結構ぶれる」という電動ノコギリですが、Makoのサ

ポートがあれば「ぶれることはありませんし、腕も疲れません」と小島さん。

一方で「安全装備頼りでは、真に安全な手術にはなりません。医師として見るべきことは見ることが大前提です」とも語ります。また安全面の観点で言えば、Makoを使った手術には開発・製造元である医療機器メーカー「ストライカー」社の社員が必ず立ち会うのも心強い点です。

「社員の方と相談しながら進めます。大工さんが家を建てるときに、設計士さんが隣にいるような安心感がありますね」



続きをご覧になりたい方は、マイベストプロ宮崎の小島岳史で検索、もしくは橘病院のホームページにもリンクを貼っておりますので、そちらでご覧ください。



橘病院 SDGs 活動始めました!

当院では、2021年7月より達成目標を73項目としSDGs活動を開始しました。1年が経過し現在の達成率は31/73項目の42%です。

これまでの取り組みの事例をいくつか紹介いたします。

1.橘病院周辺清掃、美化活動



清掃活動①



清掃活動②

2.半年に1度病院第2駐車場にて献血を実施



献血

3.女性トイレに生理用品の無料配布



生理用品

4.病院内照明のLED化を実施



LED

5.花のある街づくり運動発足



花のまちづくり

6.近所の飲食店様と当院の管理栄養士によるコラボレーションメニューの実施



コラボメニュー

これからもSDGsを通して、持続可能な社会を達成するため、病院として様々な課題に取り組んでいきます。



外来診療予定表

| | 月曜 | 火曜 | 水曜 | 木曜 | 金曜 | 土曜 |
|------|------------------|--------------------|--------------------|------------------|--------------------|--------|
| 午前診療 | 柏木Dr | 柏木Dr | 小島Dr | 柏木Dr | 小島Dr | 柏木Dr |
| | 小島Dr | 吉田Dr | 吉田Dr | 小島Dr (骨粗鬆症外来) | 吉田Dr | 小島Dr |
| | 吉田Dr | 【福嶋Dr】 【柏木悠吾Dr】 | 福嶋Dr | 福嶋Dr | 柏木悠吾Dr | 吉田Dr |
| | 福嶋Dr | | | 柏木悠吾Dr | | 福嶋Dr |
| | | | | | | 柏木悠吾Dr |
| | | 手術 | 手術 | | 手術 | 宮医大Dr |
| 午後診療 | 小島Dr (スポーツ外来) | 吉田Dr | 吉田Dr | / | 吉田Dr | 宮医大Dr |
| | 福嶋Dr | 【福嶋Dr】 【柏木悠吾Dr】 | 【福嶋Dr】 【柏木悠吾Dr】 | | 【福嶋Dr】 【柏木悠吾Dr】 | |
| | 柏木悠吾Dr | | | | | |
| | 外来手術・手術 | 手術 | 手術 | | 手術 | |

※緊急で手術が入る場合は、診察担当医が変更になりますのでご了承ください。
～最新の診療担当はホームページにて随時更新しております。～

| | | |
|----------------------|--------|-----------------------------|
| 土曜日 外来担当医 | 柏木Dr | 第2・第4土曜日(第1・第3・第5土曜日は、病棟診察) |
| | 小島Dr | 第1・第3土曜日(第2・第4・第5土曜日は、病棟診察) |
| | 吉田Dr | 第2・第4土曜日(第1・第3・第5土曜日は、病棟診察) |
| | 福嶋Dr | 第2・第4・第5土曜日(第1・第3土曜日は、病棟診察) |
| | 柏木悠吾Dr | 第1・第3・第5土曜日(第2・第4土曜日は、病棟診察) |

当院へのアクセス



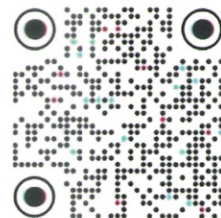
📄 ホームページ >



📷 Instagram >



📘 FACEBOOK >



🎵 TikTok

● 皆さんから何か疑問に思われることやご質問があれば、当院の医師、看護師、理学療法士、栄養士、薬剤師、放射線技師、事務員がお答えいたしますので文書や口頭、メールでかまいません。お寄せください。

(メールアドレス info@tachibana-hospital.jp)

発行元：医療法人橘会橘病院 編集：橘病院広報委員会 ホームページ：http://www.tachibana-hospital.jp